

太陽と月のカレンダー

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
日付 ▼情報 暦(こよみ) ・天文現象 <div>月の形</div> <div>日の出 日の入</div> <div>イベント</div> <div>二十四節気</div>	<div>☆水星が東方最大離角(とうほうさいだいいりかく) 地球から見て、水星が太陽の東側に最も離れて見えるときのこと。この時期、夕方の西の低空にあり観察のチャンス。 2月16日から23日までは、日の入り30分後の地平線からの高度が10度を超えるため、比較的見つけやすい。</div> <div> </div>					1 <div>06:41 17:12</div>
2 <div>満月</div> <div>06:40 17:13</div>	3 <div>節分</div> <div>06:39 17:14</div>	4 <div>06:39 17:15</div> <div>立春</div>	5 <div>06:38 17:16</div>	6 <div>06:37 17:17</div>	7 <div>06:36 17:18</div>	8 <div>06:35 17:19</div>
9 <div>下弦</div> <div>06:34 17:20</div>	10 <div>06:33 17:21</div>	11 <div>建国記念の日</div> <div>06:32 17:22</div>	12 <div>06:31 17:23</div>	13 <div>06:30 17:24</div>	14 <div>06:29 17:25</div> <div>トワイライト</div>	15 <div>06:28 17:26</div> <div>星空さんぽ</div>
16 <div>06:27 17:27</div>	17 <div>新月</div> <div>06:26 17:28</div>	18 <div>06:25 17:29</div>	19 <div>・夕方、西の空で細い月と水星と土星が接近</div> <div>06:23 17:30</div> <div>雨水</div>	20 <div>☆水星が東方最大離角 ・月と水星と土星が接近</div> <div>06:22 17:31</div>	21 <div>06:21 17:32</div> <div>天文講座</div>	22 <div>06:20 17:33</div> <div>全編生解説 星空観望会</div>
23 <div>大皇誕生日</div> <div>06:19 17:34</div>	24 <div>上弦</div> <div>06:18 17:35</div>	25 <div>06:16 17:36</div>	26 <div>06:15 17:37</div>	27 <div>・月と木星が接近</div> <div>06:14 17:38</div>	28 <div>06:13 17:38</div> <div>星空コンサート</div>	

二十四節気

月の満ち欠けをカレンダーに使っていた旧暦(太陰暦)の頃から使われてきた季節の節目を表したもの。太陽の動きから1年を24等分している。

立春(りっしゅん)…寒さも峠を越え、春の気配が感じられる
雨水(うすい)…陽気がよくなり、雪や氷が溶けて水になり、雪が雨に変わる

プラネタリウムイベント情報!
※詳しくはホームページ等でご確認ください。

冬の星空さんぽ
8(日) 15:50~16:40
見ごろの星や天文現象などのお話。

トワイライトプラネタリウム
14(土) 18:00~18:50
「UYUNI -天空の鏡・ウユニ塩湖-」

天文講座
21(土) 15:50~16:40
「赤く見える月と、星が隠れる仕組み」

全編生解説プラネタリウム
22(日) 15:50~16:40
「ガリレオ衛星
-個性的な4つの月を探る-」

星空観望会
22(日) 18:00~19:30
事前申込制/観望予定天体：月・木星など

星空コンサート
28(土) 18:30~19:30
「冬の星空コンサート」出演：Trio Bee

ひなまつりの日の皆既月食を見よう

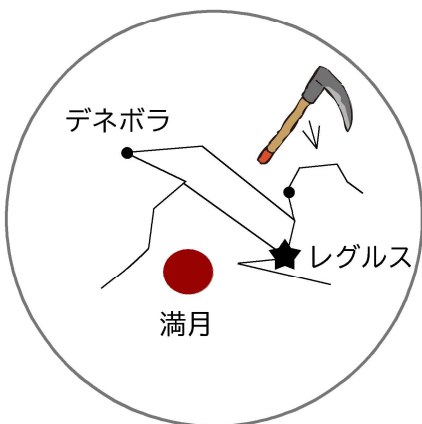
3月3日(火)の夜に皆既月食が起こります。

月が地球の影に隠される現象を「月食」、完全に地球の影に隠されることを「皆既月食」と言います。
皆既月食中の月は真っ暗になるのではなく、「赤銅色」と呼ばれる赤黒い色に見えます。



部分食の始まり 18:49 ←だんだん月が欠けていく
皆既食の始まり 20:04 ←赤黒い月が見える
食の最大 20:33
皆既食の終わり 21:03
部分月食の終わり 22:17 ←明るい満月に戻る

始めから終わりまで見やすい時間帯で起こるから、とても観察しやすいよ。
今年、八王子から見える月食はこの日限り！
月食は肉眼だけでも十分に楽しむことができるから、晴れていたらぜひ月を観察してみてね。



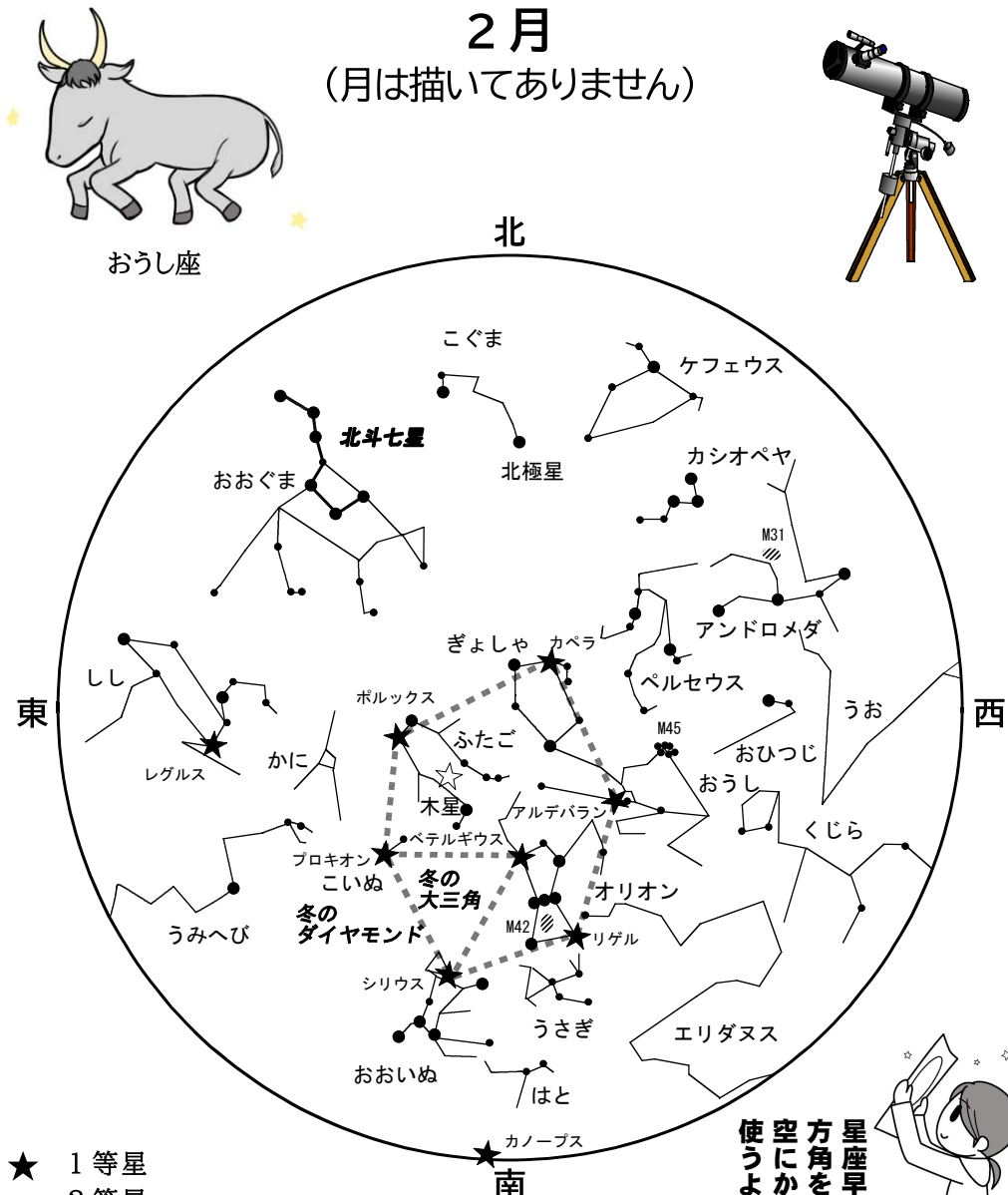
皆既月食の日の月は、しし座のあたりに見えます。
しし座の胸元の星は一等星のレグルス。
そこから上に、草かりの鎌のような星のならびがししの頭。しっぽのあたりには春の大三角の一つ、二等星のデネボラがあります。
満月はとても明るいので星は見えにくくなりますが、皆既月食のときの月は暗く見えるので、普段は見えにくい暗い星も見つけやすくなるでしょう。

もっとくわしく知りたい方は2月21日の天文講座「赤く見える月と、星が隠れる仕組み」へ

★かんたん星座早見★

2月

(月は描いてありません)



★ 1等星
● 2等星
・ 3等星
☆ 惑星

2月1日午後9時00分頃

2月15日午後8時00分頃

2月28日午後7時00分頃

星座早見は
方角を合わせて
空にかざして
使うよ。

